

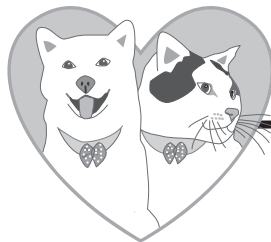
皆さんがうさぎに対して抱いているイメージには、どんなものがありますか？小学校や動物園で飼われている、かわいい、耳が長い、逃げ足が速い、寂しいと死んでしまう、ニンジンが好き、臭う、感情表現が少ない…などでしょうか。犬や猫に次いで人気が出てきているうさぎですが、今回は私がうさぎを飼い始めて感じた「うさぎの魅力」について伝えたいと思います。

犬や猫は、かわいい上目遣いでおねだりしたり、お腹を見せて甘えたり、尻尾を振って喜んだり、怒つてるときには歯をむき出してうなったりと、感情表現が豊かです。それに比べて、うさぎは無表情で感情がわからない…と思っている方が多いかもしれません。しかし、実はうさぎにもいろんな感情表現があるので、遊んでほしいときは、足をぐるぐる動き回ったり、手を舐めたり、後をついてきたりします。ケージから出してもらえてうれいときは、ジャンプしたり、急にダッシュをして楽しさを表現します。足を伸ばして横になったり、急にパタンとお腹を見せるように倒れたりしたら、それは心を許してリラックスしているサインといえるでしょう。

## 愛するペットのために…Vol.396

松波動物病院メディカルセンター

獣医師 松岡沙樹



## 動物医のアドバイスダイアリー

### 【うさぎの魅力】

かもしれません、鳴くこともありません。うれしいときや興奮しているときは、小さく高い音でブーブーと鼻を鳴らし、一方、怒っているときは、大きく低い音でブーブーと言って向かってきます。

うさぎはもともと被食者であるため、とても臆病です。犬や猫と比べると、飼い主に慣れるまでにかかなりの時間がかかってしまします。なでたり抱っこしたりするには根気が必要ですが、焦らずに仲良くなりましょう。私自身もいつになつたら懐いてくれるのかな…と悩むこともありましたが、時間が経たな分、懐いてくれた時の喜びはひとしおでした。

もちろん、うさぎを飼うのは楽しいことばかりではありません。目につく物は何でもかじりますし、トイレ以外で粗相をしてしまうなど、飼い主にとって困ったこともたくさんあります。そんなときも怒らずに、うさぎの習性に合わせて環境を整えてあげることが重要です。うさぎを飼う際には、事前に正しい飼育方法を調べ、必要な環境を準備して、最後まで責任を持って飼うようにしましょう。